

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公開番号】特開 2015-222748 (P2015-222748A)
 【公開日】平成 27 年 12 月 10 日 (2015.12.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-077
 【出願番号】特願 2014-105877 (P2014-105877)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/683 (2006.01)

H 0 2 N 13/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 21/68 R

H 0 2 N 13/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 12 月 19 日 (2016.12.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

また、その開示の他の観点によれば、チャンバと、前記チャンバに取り付けられた静電チャックとを備え、前記静電チャックは、貫通孔を備えたベースプレートと、前記ベースプレートの上に配置され、前記貫通孔に対応する位置に電極を備えた載置台と、前記ベースプレートの貫通孔内の上方に配置された第 1 筒状絶縁部品と、前記第 1 筒状絶縁部品の上に配置された第 2 筒状絶縁部品と、前記第 1 筒状絶縁部品の下に配置され、第 1 筒状絶縁部品の内径よりも小さい内径を有する第 3 筒状絶縁部品と、前記貫通孔に配置されたコネクタと、前記コネクタに備えられ、内部に弾性体を有する筒状部材と、前記コネクタに備えられ、前記弾性体に接続された給電端子とを有し、前記コネクタの筒状部材が前記第 3 筒状絶縁部品で固定された状態で、前記給電端子が前記載置台の電極に当接している半導体・液晶製造装置が提供される。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 7】

またこのとき、本来であれば、コネクタ 7 0 0 の給電端子 T はばねに連結されているため、給電端子 T は弾性力によって接続電極 E の移動に追従して接続電極 E に当接したままの状態となるはずである。